



ギヴァー

記憶を注ぐ者

ローリー作 島津やよい訳 新評論

じゅうにさい
十二歳になった少年
ジョナスは、「彼方を見る力」を
み
見いだされ、彼が住むコミュニティにたった一人しかない
い「記憶の器」の後継者選ばれた。
ぜんせかい
全世界の記憶を持つ老人「記憶を注ぐ者」から、過去の
きおく
記憶を伝達される訓練を受ける日々。
れん
練は、痛みをとまなうようになり、
ジョナスを苦しめ、孤独にした。
やがてジョナスは、結婚・出産・
しよくぎょう
職業など、あらゆる事が管理さ
れているコミュニティのやりかたに
ぎもん
疑問を抱き始める。

